

Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0906
東京都 八王子市北野町575-22
並木 真 TEL : 090-4314-3044
Fax:042-649-5276
E-mail: m.namiki1020heartbeat@gmail.com

2023年8月

The Service Club of The YMCA

第338号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長 並木 真
副会長 久保田 貞視
書記 小口 多津子
会計 長谷川あや子
直前会長 花輪 宗命
担当主事 菅野 牧夫
ブリテン 山本 英次 茂木 稔
大久保 重子

国際会長 ウルリック・
「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」
あずさ部部長ラウリドセン (デンマーク) 主題「輝かそう、あなたの光を」
スローガン「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 (川越) 主題:「変革のための光となろう」
スローガン「親睦を通して、輝き、力を得よう」
東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題:「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信を育み、真の喜びに会う！」
スローガン 森本 俊子 (長野) 主題「よい結果をもたらす心の安定と考える力を」
～面白いと思えることを再発見しよう～
八王子クラブ会長 並木 真 主題「リアルな活動とつながりを！出来ることをやる！

8月例会プログラム

(直前会長花輪宗命さん感謝会)

(担当:A班:長谷川、菅野、佐藤、稲葉、小口)

日時:8月19日(土) pm5:00~7:00

会場:安兵衛 八王子市子安4-9-8

JR八王子駅南口ファミマ隣 徒歩1分

受付:長谷川メン、稲葉メン

進行:小口メン

プログラム

開会の言葉 A班 小口メン

直前会長への感謝の言葉 並木 真会長

直前会長からの一言 花輪直前会長

記念品の贈呈 並木 真会長

会食と歓談

代表者のスピーチ: ひつじぐも4名、衣笠さん、久保田メン

スマイル 小口メン

ハッピーバースデー(並木美奈子さん) 並木 真会長

閉会の言葉 佐藤メン

巻頭言

キックオフ例会にて

並木真新会長からの挨拶

「リアルな活動とつながりを！出来ることをやる！」

今年度から新会長を務めさせていただきます並木真です。3月から新会長ということで、何度かお話させて頂きながら、ついに7月になりました。先ほどの花輪会長

先月の例会ポイント (7月)

在籍	13名	切手	0g
		22~23年度	計1698g
メン	12名	現金	0円
メイキャップ	0名	累計	0円
出席率	92%	スマイル	13,930円
メネット	2名	累計	13,930円
ゲスト	1名	オークション	0円
ビジター	2名	累計	0円
ひつじぐも	4名		

今月の聖句(2023年8月)

私は、自分のしていることがわかりません。自分が望むことを行わず、かえって憎んでいることをしているからです。もし、望まないことをしているとすれば、律法を善いものとして認めているわけです。ですから、それを行っているのは、もはや私ではなく、私の中に住んでいる罪なのです。

(新約聖書・ローマの信徒への手紙 7:15~17)

のお言葉、本当に煌びやかですね。今年で 29 年目の八王子ワイズメンクラブになりますけれども、皆様の今までの堅実な支え合いを基に、ぜひ皆様のお力を頂きながらこのクラブを進めていけたらなと思っております。皆様の一人一人のお気持ちがこのクラブをまた作っていくのかなと思っております。今まで築かれた中央大学ひつじくもの若い人たちとの交流も、これからも長く続けていけたらなと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。また、これからもよろしくお願ひします



特別講話 「子どもたちのおかれた状況と 東京 YMCA 高等学院の取組み」

東京 YMCA 高等学院院長 井口真さん

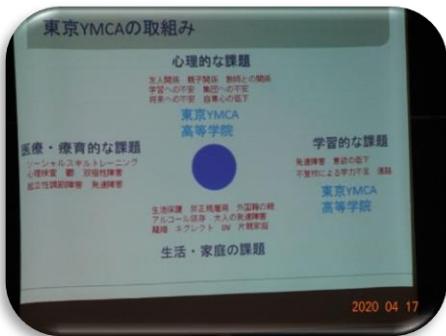
子どもの状況を知るために、大人社会の変化をざっと確認したい。大きな組織で年功序列・終身雇用で家族的だった日本社会は徐々に成果主義、個別最適化、効率重視で社員の部品化へと変化し、少数精鋭の自己責任社会になっていった。学校も、社会や家庭の要請もあり、経済界の予備校のように自己責任社会を生き延びる力を身に着ける場所になった。それを「生きる力」と呼んだのではないのか。

子どもの社会は東大・甲子園社会で、最優秀でなければ



意味がないという価値観に覆われている。間違えたら削除修正し、うまく行かなかったらリセットボタンを押す環境だ。「出来る・する

(doing)」で測られ、「存在・いる (being)」が忘れられている。able 主義(イズム)社会である。因みに Ableism という英単語は「障害者差別」という意味だ。



義務教育の間は、不登校の子どもには適応指導教室があり、発達障がいの子どものには特別支援教室がある。高校では、通信制高校がその受け皿にもなっている。東京 YMCA 高等学院に来る生徒たちは、doing の面では出来ない子たちとされ、その結果自尊心 (being=あなたは居る、要る) が低くなっていることが多い。

子どもたちの課題は幾つもあるが、大きく 4 つに分類したい。①心理的課題: 友人関係、親子関係、教師との関係、集団への不安等 ②学習的課題: 意欲低下、不登校による学力不足、発達障がいに伴う合理的配慮等 ③医療・療育的課題: 心理検査、鬱や双極性障害、起立性調節障害、SST 等 ④生活・家庭的課題: ネグレクト、DV、貧困、離婚、外国ルーツ、アルコール依存等。こうした課題は次のような形で表れる。発達障がいや集団不適応・不登校の増加。いじめや自殺、非行・自傷の増加、予期せぬ妊娠、子どもの養育困難…。①と②に対応しようとするのが東京 YMCA 高等学院であり、③に対応しようとするのが ASCA クラスであるが、全て YMCA で出来ることではなく、外部機関と連携しなくてはならない。

東京 YMCA 高等学院では、キャンプの手法を大いに



活用し、生徒も教師もキャンプネームで呼び合い、体験的な授業を豊富に取り入れている。頑なになってしまった心は温められなければ開

かない。開くずには、どんな支援も意味をなさない。東京 YMCA 高等学院では、生徒たちの判断を信じて待つことを実践している。レポートによって学習が進み、出席の義務が非常に少ない仕組みであるので、来ても来なくてもいい授業を毎日展開し、来た方がよく分かるいいことがあるよと伝えながら、本人の判断を尊重している。様々な生徒に合わせて行事も多いが、それも自由参加だ。そのように尊重される日々、生徒たちはもう一度やれるんじゃないかと思えるようになっていく。

YMCA に来たら全てが解決するわけではないが、私たちは嵐のような生活を潜り抜けてきた生徒や家族の「安全な港」でありたい。今は休むべき時なのか、新たな道を探す旅に出る時なのか、それは生徒にしか分からない。保護者や学校は信じて待つしかできない。このまま放っておいて大丈夫なのだろうかとは焦るし不安になる。そのモヤモヤした状態に耐える力をネガティブケイパビリティという。私たちに求められるのはそうした力なのだ。

入会にあたって

稲葉 恵子

この度、東京八王子ワイズメンズクラブに入会させて頂きました、稲葉恵子です。

入会式では緊張の中、会の皆様に温かく見守られ無事終えることが出来て感謝しております。



離れ

二人の子供が高校生になった頃から、再び仕事に就き

企業健康検診の会社で、北は北海道から南は長崎まで出張検診など忙しい日々を過ごしました。

会に推薦して頂いた小口多津子さんとは数年前に地域花壇のボランティア活動で知り合いました。小口さんは多岐にわたりご活躍でお忙しい身でありながら、好奇心旺盛な姿に圧倒されました。

お誘いして頂いた中で(旧)東京多摩みなみワイズメンズクラブのプランター栽培に参加させて頂き、藤田先生の講義をリモートで聴講し収穫の喜びを知り楽しませて頂きました。その活動によって、近隣の子ども食堂等々の力になっていることを後から知りました。

小口さんと共に活動するようになって、自分のことばかりで何もしていない自分に不甲斐なさを感じていました。そんな時、会へのお誘いがありました。



例会にも参加させて頂き卓話というお話をお聞きして、なんとなく知っていても深いところまで知らずに過ごしていた事に気づきました。

特にバングラデシュの学校支援のお話、先日のYMCA 高等学院のお話等心に残るものがありました。

最後になりますが、会の一員として一日でも早く皆様と活動できるように頑張っていきたい思います。

これから、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

稲葉さんを推薦！キオ

小口多津子

稲葉さん入会式、おめでとうございます。私と彼女との出会いは、町田市の地域花壇の中での一緒に作業を通して、またその頃に稲葉さん



に10

種類以上のパンを教えていただきました。彼女の台所でパン生地をこねながら、世間話をしつつ、ワイズメンズクラブのことも話していました。ですから私は今、彼女がこの北野事務所の中に一緒にこの場に立っていることが不思議で感無量であります。そのほか東京多摩みなみクラブ主催のプランター栽培講座へお誘いして、この講座の中での準備作業に参加しました。リモート講座なので、遠隔地の受講生へ送る種の袋詰めや苗の梱包のお手伝いに参加しました。この時の多摩みなみクラブの皆さんとの交流が、彼女がワイズを深く知る一番のきっかけになったものと思います。ある時、彼女は農園作業の日、手作りの菓子パンを持ってきて、休憩の時に配っておられました。もうその時から既にワイズメンだったのではと思います。また5月にありました東新部の江戸川ウオーキングにも行きました。この時は久保田メンも一緒に、長い土手道を歩きながら久保田さんと話が弾んでいました、それらの経緯のあとに、入会という言葉が彼女から自然に出てきたように思います。



EMC 事業主査 原 俊彦メン

入会立ち合い： 原俊彦様挨拶

EMC 事業主査 原 俊彦

本日はおめでとうございます。明日から新しい年度ですが、今年度 EMC 事業主査の任命を受けましてその立場にありますので長谷川書記さんから早速にメールで「つきましてはキックオフ例会で稲葉さんという素晴らしい方が入会されますので、是非立会人として出席をいただきたい」というメールをいただきました。

本当に久しぶりで私のいわば主査としての役割をこうして役立てていただいて立会人として出席をさせていただくというお誘いだったのですぐにお返事をいたし「喜んで出席させていただきます」と申し上げました。

私が東日本区の理事の時に三顧の礼を持って長谷川さんに書記をお願いしまして借りをたくさん作っているものですから、今回はまず第一に借りをお返すするという意味で出席させていただきました。

昨年私どもも 10 年ぶりくらいに新入の尾崎さんという女性を迎えました。一人入会すると本当にクラブの雰囲気が変わってまいりますね。私どもも 12 名という少人数ではありますがそれでも尾崎さんが入られたことによって本当に活性化を図られてより活発なクラブとして生まれ変わった気がしています。

稲葉さんぜひそういう形でのお働きをこの八王子クラブでもお願いをしたいと思っております。本日はおめでとうございます。



入会宣誓式

会長：並木 真メン 入会者：稲葉恵子さん
立ち合い EMC 事業主査 原 俊彦メン
紹介者 小口多津子メン

東京多摩スマイルクラブの発会式

小口多津子

7月6日に、新しくスタートしたワイズメンズクラブ「東京多摩スマイルクラブ」の発会式があり、八王子クラブから並木 真会長とご一緒に出席しました。

東京多摩みなみクラブと東京町田スマイリングクラブが一つに統合されたことによって、新しくなりました。この日の伊藤幾夫会長が新クラブにあたり、挨拶で「前年度の東新部部長の深尾香子さんが、部長さんとして掲げた活気ある「All 東新部」の主題をそのまま続けて、この統合に繋げてきました。高齢化に伴いメンバーも減ってきた、部は全員で一つになろう、という精神。またこの準備として、合同例会を隔月に実施して、ゆるやかに様子をみてきたこと、話し合いを重ねてきた上で生まれたとのこと、これが統合の意味」とのことでした。

事実、私は今年4月に出席した、3クラブ合同例会(東京町田コスモス、東京町田スマイリング、東京多摩みなみ)で、その形を実際に感じました。卓話が YMCA 職員 の池田麻里子さんの「YMCA スタッフのバングラディッシュ訪問」でした。その時の卓話の後、華やかな意見交換がされて、往年の仕事での訪問した国の話、経験談。たとえひと昔の様子であっても、みなでその時代に戻り、お互いの経験を話し、豊かな楽しい気持ちにさせられたこと。やはりクラブは人数が多ければ、中身が膨らむことを実感させられました。クラブが例会の中身を豊にすることが、長く続くということを感じました。

クラブバナーも一新されました。町田スマイリングのカラーの黄色に、多摩みなみのちょっと大人ぼくなった狸のキャラクターが、町田市 の鳥、カワセミを肩に乗せています。多才な人材が多いこの新しいクラブは、メンバー数は 17 名になって、東新部では東京クラブの 25 名に次いで2番目に多くなりました。



AYC 特集号

ひつじぐも委員長の大山希さん挨拶

AYC には去年は2人だったんですけれども、今年は5人参加させていただけるということになりました、普段から皆様の支えがあってこそと思うので本当にありがとうございます。



この5人の中で1人ずつ紹介させていただきますと2年から4人で轟千佳さん、岩崎葵さん、藤原直輝くん、藤原湧介くん1年生で田中大翔くんが参加するんですけれども、今日は岩崎

葵さんと田中大翔くんが参加してくれています。

轟千佳さんは昨年サークルに入っていて会計もやってくれている子なんですけれども、他の4人の子たちは今年から入ってくれた子たちでやっぱり去年の4月ぐらいまではコロナが結構あったということでサークルもなかなか活発にちょうどリスタートということで知り始めた段階だったのですが、今年は結構国際ということもあってサークルにたくさん入ってくれました。

こういうふうに関心を持った人たちがいっぱいサークルに入ってくれたのかな、と思います。一言ずつ参加の皆さんに挨拶を頂きます。



AYC 参加者 岩崎葵さんの挨拶

中央大学2年生国際経営学部2年生の岩崎葵です。私は埼玉県の入間市に住んでいてそこから大学に通っているんですけど、今回このボランティアに参加した理由としては春休みに一人で海外旅行に行きましてニューヨークとカナダのモントリオールに3月から4月にかけて3週間ぐらい行ったんです。私は2年生なので皆さんのインスピレーションを受けて文化の違いやいろん

じなエンターテインメントなどにも触れて自分がやりたいことを来年就活するのに自分



がやりたいことは何なんだろうとか温かい人たちに触れたりそういう経験をした上で自分も何か恩返しをしたいなと思いボランティア活動を探していて、このひつじぐも自体は友達が紹介してくれて行事に参加した上で今回のネパール研修をして、

たくさんのところから援助もいただけるという話も聞いたのでぜひ自分も参加してみたいと思い今回も参加を決意しました。まだわからないこととかたくさんあるんですけど今回のボランティアに参加してたくさんのものを自分でも得て、たくさんのものを周りに与えられるように頑張りたいと思います。

よろしくお願いします

AYC 参加者 田中大翔君の挨拶

こんにちは、紹介してもらった田中大翔です。経済学部



の1年生です。今回、僕がAYCに参加しようと思ったのは去年海外に行った友達がめちゃくちゃ自由になって帰ってきて「お前そんな奴だったっけ」みたいなすごい自信のある

意見をくれる子がいて、それで僕は初めて海外に興味を持って、今回皆さんが支援をしていただけるということでこれは絶対に行くしかない、どうしても自分で参加しようと思いました。よろしくお願いします。

AYC2023 (アジア・太平洋地域ユース・コンボケション)・概要

小口多津子

2023年8月25日～29日ネパール・カトマンズ。アジア諸国から今回はスタッフ入れて約50人が登録。日本から17名、東日本区から13名、西日本区から4名の若者が参加です。その内、ひつじぐもから5名参加。プログラムは、開会式、各国文化発表、ネイチャーツアー、地域コミュニティ訪問。また毎日のセッションでは、①明確なリーダーシップとは、②奉仕プロジェクトの計画と準備、教育。

[次ページへ続く](#)

5ページより続く

③環境問題におけるユースのリーダーシップとは。④地球規模のインパクトと地域での解決方法:効果的なパートナーシップを築くには。最後の日の晩餐会はフォーマルウェアでの参加。帰国後の報告会は、ひつじぐもは11月11日(土)の11月例会を予定しています。

今月の聖句によせて：8月度

今月は、J・ペイリー著(新見宏訳)「朝の祈り 夜の祈り」(日本基督教団出版局)より、31日の夜の祈りを紹介します。

主よ、あなたは昼の主であられるように、また夜の主であり、すべての星はあなたのみ心にしがたっております。この暗黒のとき、わたしもまたすべてをみむねにゆだねたく願います。

わたしの心に頭をもたげる利己心から
なすべき務めをのがれる臆病から
うけなければならぬ苦しみをさけようとする反逆から
与えられたものに対する不満から
他人の好運をうらやむねたみから
あなたが五タラント、あるいは十タラントを与えず、一タラントをお与えになったことを軽く考える思いから
被造物の分をこえた思い上がりからふしだらな思いから
学ぶことを欲せず、仕えることをいとう態度から
神よ、わたしをとき放ってください。

父なる神よ、あなたはわたしが最も遠くはなれているときに最も近くにいまし、あなたに見捨てられたと思うときにさえ、すぐそばにおられる方です。どうか、わたしの我意が敗北することが、あなたの永遠の目的の成就でありますように。

並木 信一

2023-2024 年度第一回あずさ部評議会報告

久保田貞視

7月15日13:00~18:00 東京武蔵野多摩クラブホストにより、第1回あずさ部評議会が「未来のために、今、学びと気づきを！評議会」として、高尾の森わくわくビレッジで開催されました。当クラブからの出席者は、並木真会長、花輪直前会長、長谷川あずさ部書記、小ロワイズ、山本ワイズ、久保田の6名。

評議会は、森本俊子あずさ部長の開会点鐘に始まり、歓迎の挨拶はホストクラブの宮内副会長。その後、評議会となり、長谷川書記の司会で始まりました。部長挨拶に引き続き、議案審議となり第一号議案は2022-23の会計決算報告及び第二号議案 同監査報告の承認、第三号議案は次期部選出人数割り代議員推薦の件で、現部長の森本俊子ワイズが推薦され、全て承認されました。

その後、事業主査活動方針、クラブ会長活動方針があり、監事講評で評議会は終了した。ただ、望月監事の講評の中に前回の評議会を持ち越しとなった次期部長の選出に当たり、「当該クラブで該当者がいない場合に、次のクラブに依頼してクラブ持ち回り一巡した時点で部長に就任する。」ことを議案に入れるべきだったと指摘されました。

基調講演は、山田東日本区理事による「2023-24 年度方針と計画で、8つの具体的目標を、1. ユースアクションをワイズの看板に、2. 北海道や学Yを2023-24の特別地域に、3. 福島と長野をYMCA運動に、4. クラブライブの充実のために、5. 国内での活動の充実を目指す、6BF,TOF,IBCを関連付けて実施、7. iGoの国内版(ユースを3-4週間受け入れ研修)8. ワイズの将来構想検討委員会を発足。これらの項目について詳しく説明されたが、特に、ユースアクションが必要と強調されました。

その後、分科会となり7テーブルに分かれて、理事の8項目について熱い議論が戦わされ、種々の提案も出されました。特に、ユースとの対応については各テーブルで、学生YMCAとの交流として八王子クラブのひつじぐもとの永年継続しての協力関係が参考にされたことは、担当クラブとして良い気持ちでした。

最後は懇親会で、1回の食堂のコーナーを仕切り、テーブルを4人づつとして各クラブメンバーとの懇親を図りました。

今回の評議会に講演を入れ、その後の分科会で講演で指摘された項目について各分科会で討議し、意見を交換したのは良い試みであった。



わくわくビレッジ便

担当主事 菅野 牧夫

7月に入り晴れの日も増えて、毎日暑い日々が続いています。わくわくビレッジもこの夏休みはコロナ前の予約並みになってきて、連日人があふれかえっています。スタッフも久しぶりのあたたかさ、体が慣れていないのか、あたふたしております。

先月、青山学院大学でインターンシップの募集をかけたお話をしましたが、2名の学生からリアクションがありました。8月、9月のプログラムのお手伝いをしてもらいます。わくわくビレッジやYMCAの仕事は、給料も安く、肉体労働もある大変な仕事であり、なかなか学生たちの就職先第1希望にはなれません。どれだけやりがいがあるのかということを感じてもらわないと働きたいと思う学生を見つけることは困難です。

今回のインターンシップでは、わくわくビレッジのプログラムスタッフペアになってもらい、仕事内容を見てもらうことが第1の狙いです。わくわくビレッジの仕事が、「いかに楽しく、生きがいがあるもの」かをプログラムスタッフが見せられるかにかかっています。スタッフにとってはプレッシャーであるとは思いますが、スタッフたちにとっても振り返るいい機会であると思っています。今回のインターンシップに参加した学生の中で一緒に働きたいと思う学生が出てくることを期待しています。

8月はわくわくビレッジ社会教育事業の「わくわくの森」です。わくわくビレッジでは大きなイベントで、通年でかかわっているボランティアリーダーたちが力を発揮します。子ども時代にキャンプに参加していた人たちが、大学生になりボランティアとしてかかわるいい流れができてきています。この大学生たちが社会教育事業に携わる意義を発見してスタッフになりたいと思ってもらえるといいなと思っています。インターンシップ同様期待しています。



スタッフトレーニング（ピザづくり）

ひっじぐも便

文学部1年 堀畑綾音

私は7月15日に八王子生活実習所で行われたボランティアに参加した。活動内容は絵の具を使って大きな発泡スチロールの板にみんなで星空を描いてみよう！という内容だった。

はじめに青・紫・黒の三色を使って夜空を書いた上に白・黄色を使って星を描いた。描き方もただ筆を使って描くのではなくローラー・ボール・刷毛も使って描き、実習所の皆さんどうしボールをパスしあって描くこともあった。黒を使ったので星空は黒一色になるかと思ったが、青・紫も塗ったことで単なる黒一色ではない、とても深みのある夜空となったのが印象に残っている。

私が最も印象に残ったのは実習所のスタッフの方々が実習所の方の意思を尊重しとても楽しそうにしていたことだ。青・紫・黒の三色から選ぶ際もスタッフの方が「はい、この色をやってね」と強制するのではなく本人にどの色をやりたいのか聞いていたところだ。するとこの色がいいと指さしてとても楽しそうに塗っていた。このボランティアの間は実習所の方が入れ替わりでたくさんの方が色塗りをしたが全員がとても明るく、楽しそうにしていたのを覚えている。塗っている間も「この方法いいね。」「すごいじゃん」とほめる言葉が多かった。

スタッフの方々がポジティブな言葉を投げかけあうことで実習所の方々は思い思いに好きなように塗っていた。はじめはきちんと完成するのか疑問だったがだんだんみんな色を塗っていくうちに星空が完成していく様子はとても素晴らしかった。



東京YMCA 近況報告 8月 菅野牧夫

1. 今夏は、合わせて 10 の宿泊キャンプと日帰りキャンプを予定しているが、6月16日の受付開始当日の内に、全てのプログラムが定員一杯となった。今回も経済的に支援の必要なお家庭の子どもたちにはフレンドシップファンドからサマープログラムの参加費を補助する。また、小学3年生から高校生を対象とした海外キャンプ「ダイナミックサマー」は、ハワイ、ニューヨーク、ボストンの3コースを設定し、各コース10名で実施される。
2. 山手ウエルネス、ウエルネス東陽町では6月18日に、ウエルネス御殿山では7月2日に、「ウォーターセーフティーデイ」として親子着衣泳イベントを開催し、合わせて38組77名が参加した。またそれぞれ「水上安全週間」を設け、通常の水泳クラスでも着衣泳プログラムを実施した他、近隣の幼稚園、保育園、小学校等に水の安全に関するハンドブックを無料配布した。
3. 南居場所事業部、及び西東京居場所事業部では、言葉や文化の違いから生きづらさや困難を抱える子どもたちをサポートすることを目的に、日本在住の外国にルーツを持つ子どもたちのためのサマーキャンプを8月22日～24日に山中湖センターで実施する。また「宿題サマースクール」として、工作やお菓子作り等を一緒に楽しみながら、ユースボランティアリーダーとともに夏休みの宿題に取り組むプログラムも両拠点で実施する。
4. 今後の主な行事日程
 - ・「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ:回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革」会場:インド・チェンナイ
 - ・第26回会員芸術祭(オンライン芸術祭)
9月上旬～10月(東京YMCAのHP上に掲載)
 - ・「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン):9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン):
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園):9月23日

【クラブ7月第一例会報告】

2023年7月8日7月第一例会キックオフ例会報告

日時:7月8日(土)pm:6～8時 場所:北野事務所

担当班:C班 並木信一、大久保、山本 司会(山本)

出席者(敬称略)21名(メンバー)長谷川、菅野、佐藤、小口、花輪、望月、久保田メン・メネット、並木(真)、山本、大久保、並木(信)、並木メネット。

(卓話者)井口 真、(ビジター)原 俊彦(富士五湖クラブ)、(ゲスト)酢屋善元、(入会者)稲葉恵子

(ひつじぐも)大山 希、森脇啓心、岩崎 葵、田中大翔

○新旧会長引継ぎ式 花輪宗命さんから並木 真さんへの会長バッチ引継ぎ。立ち合い人 原俊彦メン

花輪前会長から真会長へのアルファベット「I」で始まる4つ誓の言葉の式文朗読。

並木真会長の所信表明

・主題「リアルな活動とつながりを！出来ることをやる！」。

○入会式

新入会員 稲葉恵子さん、式文朗読 並木 真会長、

立会人 原 俊彦さん(あずさ部会員増強事業主査)、

紹介者 小口多津子メン

4人がキャンドルを持って厳かに、式文が読まれ、入会者稲葉さんの賛同がありました。並木会長のお祝いの言葉、稲葉さんの挨拶、原主査の祝辞、小口メンの入会者の紹介。

○卓話「YMCA 高等学院の使命と日々の生活」—YMCA 高等学院は今、なぜ必要とされるのか」

井口 真氏(東京 YMCA 高等学院院長・オルタナティブ研究所所長)

東京 YMCA 高等学院の紹介(学院の説明、学生数、授業の形態、卒業後の進路など)が映像と共に紹介されました。生き難い学校生活や社会の中で、過ごしてきた生徒たち、その子を守る親たちが見つけた居場所がこの高等学院であるが、井口院長が日々様子をみていると、だんだんと彼らの目線は、まっすぐ自分の先を見ていることに気づかされる。登校などの時間的自由さは選べるが、その自由さの先には厳しいこともあるということを教え育てているということでした。

私が卓話に感じたものは、高等学院の常に「側にいるよ」「あなたの傍らにいるよ」という姿勢でした。見守るのではなく、隣にいるよ、と伝わる姿勢を感じました。

○ひつじぐも大山 希委員長から、8月25日～29日出発のAYC(ネパール)派遣の学生さんの紹介。

この日は、岩崎 葵さん2年生、国際経営学部と田中大翔さん1年生、経済学部のお二人が出発の抱負を語られました。あとの3名の轟千佳さん、藤原直輝さん、藤原湧介さんは帰国後の報告を楽しみに。

○報告・久保田副会長から、令和6年3月9日のチャリティーコンサートの会場が、八王子市北野市民センターに決まったとのこと。

長谷川部書記から、部報が発行されたこと。15日の評議会出席者。

並木会長から、ロースター発行での各自の記載の確認

○スマイル・13,930円

○ハッピーバースデー 花輪宗命さん(8日)、稲葉恵子さん(24日)

○閉会点鐘 並木真会長

【クラブ・7月第二例会報告】

日時:7月22日(土)18:00~20:00

北野事務所小会議室

出席者(敬称略)並木(真)、長谷川、佐藤、山本、菅野、花輪、並木(信)、久保田、稲葉、小口

<報告事項>

① あずさ部評議会報告(並木真、長谷川)(7月15日わくわくビレッジ、ホスト東京武蔵野多摩)

八王子出席者:長谷川、山本、花輪、久保田、並木(真)、小口(6名)

山田理事の基調講演と7グループの分団協議。
全体写真撮影(山本)。

第二部はカフェテリアでの会食と懇親会、富士五湖クラブの9月富士山例会のアピール等。

② AYC 報告(小口)(8/25~29)ネパール、カトマンズ。参加者は東日本区13名、西日本区3名、クラブ推薦のひつじくも(藤原(湧)、岩崎、田中、轟、藤原(直))5名参加。

開会式に参加の為に出発を全員23日に変更(10:30成田発直行便)、費用と支援金のこと、登録・旅費の総費用が約18万/人、考慮中も含め助成金・各支援金約88,000/人、概算で自己負担金約92,000/人となる。

③ 前年度22-23クラブ会計報告と今年度の予算案(長谷川)
前年度の大きな出費は、ブリテンプリンター代、5月ひつじくも新入生歓迎BBQ、AYC支援金等

<これからの予定>

① 8月第一例会、直前会長感謝会(担当A班)
日時:8月19日(土)pm5~7時 場所:大衆食堂「安兵衛」JR八王子南口1分

② 8月第二例会 8月26日(土)18:00~ 北野事務所(A班)

③ 9月第一例会 9月9日(土)18:00~ 北野事務所(B班)食事なし
卓話:東京農工大 横森さん「JICAの体験談」

④ 10月第一例会 10月14日C班、森本あずさ部部長公式訪問、高尾の森わくわくビレッジを検討中。

⑤ 11月第一例会 11月11日A班、AYC参加ひつじくも報告会。北野事務所または、わくわくビレッジ

⑥ 2024年3月地雷廃絶のためのチャリティーコンサート(担当:CS花輪)

2024年3月9日(土)2:00 会場:北野市民センター
出演:奈良原 繭里(ソプラノ)、笹川哲史(ヴァイオリン)、中山博之(ピアノ)

2024年3月2日土、コンサート事前の街頭募金(JR八王子駅前)を検討。

<次回8月での相談>

・あずさ部第2回評議会 2月10日(土)東京八王子クラブ
ブホスト会場:高尾の森わくわくビレッジ

・東京YMCAチャリティーラン参加の件、

・あずさ部部会(10月21日・長野)

・東京八王子クラブ30周年記念会(2024年10月)

8月の誕生

並木美奈子さん 8月23日

9月卓話者紹介

横森佳世氏

東京農工大学グローバル教育院准教授。大阪大学大学院国際公共政策研究科修士、ケニヤッタ大学大学院公衆衛生及び疫学研究科修士。住友銀行勤務後、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)でのネパール・ブータン難民キャンプ支援事業を皮切りに、国際NGO・AMDAやJICA 専門家として、バングラディッシュ、ミャンマー、ケニア、ウガンダ、ルワンダ、ガイアナ、ガーナ等での緊急救援事業や開発事業に従事した後、2018年より現職。